

津軽地域ケアネットワーク交流会 2022 実施要領

1 目的

住民が疾病を持ちながらも、住み慣れた地域で安心して自分らしい生活を続けていくためには、本人による意思決定を基本とし、医療・ケアを進めることが最も重要である。
青森県は全国でも男女ともに平均寿命が最下位であり、健康と医療の課題を抱えた地域である。住民のヘルスリテラシー向上に関して、保健・医療・福祉の専門職ができることは何か、参加者がそれぞれの立場で考え、今後の多職種連携につなげることを目的とする。

2 テーマ

第一部 講演

「青森県の短命県返上活動から見えてくるもの」

講師：弘前大学学長特別補佐 中路 重之 先生

第二部 グループワーク

「ヘルスリテラシーの向上に関して我々ができること」

3 開催方法

主催：津軽地域ケアネットワーク

共催：中南地域県民局地域健康福祉部保健総室（弘前保健所）、一般社団法人弘前市医師会、一般社団法人弘前歯科医師会、一般社団法人弘前薬剤師会、公益社団法人青森県介護支援専門員協会津軽支部会、青森県看護協会中弘南黒支部、弘前市第一地域包括支援センター

(順不同)

後援：一般社団法人南黒医師会、南黒歯科医師会、青森県訪問看護ステーション連絡協議会中弘南黒支部、黒石けっばるケアマネジャーの会、板柳町、西目屋村地域包括支援センター、公立大学法人青森県立保健大学

(順不同)

4 日時

令和4年10月15日（土） 13：30～16：00（13：00～入室可）

※オンライン（zoom）開催

5 参集範囲

二次保健医療圏にある病院・診療所・歯科診療所及び薬局、市町村、介護支援専門員、地域包括支援センター、訪問看護ステーションなど地域の保険・医療・福祉に携わる専門職

6 日程

時 間	内 容	
13:30	開会挨拶	津軽地域ケアネットワーク 会長 袴田 光樹
13:35～ (60分)	第一部	テーマ 「 青森県の短命県返上活動から見えてくるもの 」 弘前大学学長特別補佐 中路 重之 先生
14:35～ (10分)	質問	*第二部の流れ説明
14:45～ (45分)	第二部	グループワーク テーマ 「 ヘルスリテラシーの向上に関して我々ができること 」
15:30～ (20分)	全体共有	*5グループ程度
15:50 (5分)	総括	弘前大学学長特別補佐 中路 重之 先生
15:55	閉会挨拶	津軽地域ケアネットワーク 副会長 成田 智美

7 参加費用 : 無料

8 申込方法および締め切り

申込方法：各自お持ちのパソコン又はスマートフォン等、インターネット環境が必要になります。



<https://forms.gle/ysNMzdt79Ffb9bh19>

上記、QR コードまたはURL にアクセスし、お申し込みください。

ご入力いただいたメールアドレスへ当日の zoom 招待メールが届きます。

申込締め切り：令和 4年 9月 30日（金）

9 問合せ先

津軽地域ケアネットワーク事務局 ときわ会病院 地域医療連携室 有馬 圭祐
電話 0172-62-3771 E-mail tkhp-soudan@tokiwakai.or.jp

※ 「弘前地区在宅医療・介護連携支援センターそよかぜ」 ホームページにも掲載しております。

<http://www.hirosaki.aomori.med.or.jp/soyokaze/>

※ 本研修は、主任介護支援専門員更新研修受講のための受講要件（2）に該当します。

研修終了後、青森県介護支援専門員協会津軽支部会より修了証をお送りします。

全日程（一部・二部）に参加された方に限ります。